



# かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ) 第 18 号

カット 三留正子

H 14. 8. 2

かなざきひさを応援する会・会報 18 号 発行責任者 伏見 小枝

葉山町議会第 2 回定例会が開催されました。期日平成 14 年 6 月 18 日～6 月 28 日〇

## かなざきひさの一般質問



### (1) コミュニティーバスについて

現行の路線バスのみでは町民にとって大変不便であり、コミュニティバスのような小回りの効く交通手段が必要であると、多くの方が望んでいます。行政としては 12 年度からコミュニティバス調査研究事業を立ち上げ、アンケート調査等の為、10 万円前後の予算がついています。今回初めて一般質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
今年度の予算の使いみちは。	当町に似た、県外自治体への職員の視察を予定。(町長)
町長自身はコミュニティバスの導入を必要と考えているか。	何らかの交通システム(コミュニティバス、福祉バス、タクシーの併用)が必要と考えている。(町長)
かつてのアンケート調査の内容は。	要らないという地域もあるので、どういう対応が必要か更に検討を加える。(町長)
来年度にむけて、実証実験(試験運行)など、一歩進めるような調査研究をして頂きたい。	当然そのような対応も組み入れるべきと思う。(町長)
<p>かなざきひさの考え 『交通形態が今のままでは良くない』『何か手をほどこさなくてはいけない』『一歩前進の調査として実証実験も組み入れる』ということの確認をいたしました。昨年の「ふるさと広場」の時に、町民パワーで試験運行をし、無料ということもあってか大成功を納めました。法律上、行政がかかわらないと乗車料金を取ることができません。平時に料金を払って、どれだけの方が利用するかを知る為にも、実証実験の為の予算化が必要であると思います。『町民だけではできないところを行政が手助けをする』これこそ町長の言う、町民との協働ということではないでしょうか。来年度の予算化に向けて、提案を続けます。</p>	

### (2) 海と川をきれいにする施策について

今回は、水質浄化と海岸の放置ボート対策について質問しました。



#### ① 水質浄化について

質問と提案	理事者側の答弁
全町にわたる污水対策の長期的ビジョンは。	葉山町総合計画と下水道審議会の答申を尊重し、全町を公共下水道の整備で進める。(町長)
工事完了目標は。	平成 32 年。(都市経済部長)
下水道事業に今年度 9 億 7900 万円の町税を費やしている。今後の見通しについて。	他の施策に影響を及ぼさない範囲で、最大限の対応を考える。(町長)
18 年度までに 300 ヘクタールを完了するという計画であるが、経済状況により遅れる可能性も有るのでは。	目標はそうであっても、無い袖は振れないので遅れる可能性も有りうる。(町長)
水質浄化を公共下水道のみに頼っていると、時間とお金が掛かり過ぎる。合併浄化槽の推進については。	現在の合併浄化槽の基数は 410 基。清掃、保守点検、法定検査を個人が主体的に行う義務がある。(町長)
全国的に管理状況が 14.4%と悪い。管理しなければ水質浄化につながらない。町として維持管理に、管理条例制定など、何か手立ては。	条例を制定しても、そのとおり実施してもらえないという期待は持てない。水を浄化するという目的の為には、公共下水道で一括処理する方が良いというのが持論である。(町長)
一刻も早く水の浄化を達成する為に、町民が一丸となって、自分達で出来ることをしていくように、方向性を持たせる必要があるのでは。	正しい維持管理をしてもらえるよう、啓発活動に努める。(町長)

**御存知ですか** 2001 年 1 月の町長の後援会会報誌で『下水道計画は合理的な併用方式で行う』とあります。つまり「人口密集地は公共下水道で、木古庭・上山口など住居の密集していない地域は合併浄化槽で、東伏見・パークド四季・葉山シーライフなどコミュニティプラントのある地域は既存施設活用で行う」ということです。適切な維持管理をすることにより、併用方法が一番経済的で一番早く水の浄化につながると思います。

